

- 第2期 -

# うきは市 観光振興計画

【概要版】



令和6(2024)年3月

福岡県うきは市

# 本計画の目的と位置づけ



## 1 計画策定の目的

令和2(2020)年度に策定したうきは市観光振興計画(以下、第1期計画)の計画期間が終了することに伴い、本市における観光地域づくりの理念や具体的な戦略の策定、市民・事業者・関係機関・行政などが担う役割を明確にすることを目的として、第2期うきは市観光振興計画を策定します。

## 2 計画期間

本計画の計画期間は、令和6(2024)年度から令和10(2028)年度までの5年間とします。計画期間中は、1年ごとに進捗状況の把握を行い、必要に応じて内容の見直しを行います。

# 近年の観光を取り巻く社会動向



## 1 国の観光立国の実現に関する基本方針

令和5(2023)年3月に閣議決定された「観光立国推進基本計画」では、観光立国の持続可能な形での復活に向け、観光の質的向上を象徴する「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」の3つをキーワードに、「持続可能な観光地域づくり戦略」、「インバウンド回復戦略」、「国内交流拡大戦略」の3つの戦略に取り組むこととしています。

特に「持続可能な観光地域づくり戦略」は、インバウンド回復戦略と国内交流拡大戦略の双方を支えるものであり、その推進にあたっては観光地域づくり法人(DMO)を核として適切なマネジメント体制が構築されることが期待されています。

### トピック 持続可能な観光基準について

持続可能な観光の推進のため、「GSTC-D」という観光地向けの国際基準や、「日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)」が策定されています。観光地がそれらの基準に則った取組を行うことで、自然環境の保全を図り、地域経済の活性化や地域社会の生活改善につながる観光を推進できます。このような持続可能な観光基準の考え方は、自然環境の豊かな本市における観光を通じたまちづくりの方向性とも合致しています。



### トピック DMOを核とした官民連携による取組の実行体制

山梨県北杜市と長野県富士見町・原村にまたがる『八ヶ岳観光圏』のDMO「八ヶ岳ツーリズムマネジメント」では、来訪者と地域住民が触れ合う滞在型交流観光を推進するため、多様な分野で本業を展開する地域の民間事業者のトップリーダーたちを「観光地域づくりマネージャー」として位置づけ、それぞれの得意領域を活かした観光圏事業への参画を通じた観光地経営を行っており、本市においてもこのような推進体制が活用できると考えられます。



# 過去3年間のうきは市の観光における成果と課題



## 1 うきは市観光における成果と課題

### 成果

- ✓ コロナ禍でのマイクロツーリズム推進などにより、来訪者に選ばれる地域として成熟
- ✓ 宿泊施設の増加などに伴う市内の観光消費額や滞在時間の増加
- ✓ 民間主導による地域資源を活かした新たな観光コンテンツの創出や関係人口づくり
- ✓ 観光 DMO を中心とした情報発信・プロモーション活動の進展



出典:うきは市



出典:うきは市

### 課題

- ✓ 市民の暮らしの充実・地域づくりに還元できる観光業の成長
- ✓ 来訪者の受け入れ環境整備と併せた市民生活の利便性向上への対応
- ✓ うきはテロワール由来の地域資源の保全につながる新たな観光のあり方の検討
- ✓ 観光事業者・市民・行政が連携したともに創る推進体制の構築



出典:うきは市



出典:うきは市

## 2 第2期計画策定のポイント

### Point

地域の良さに目を向け、その良さを実感し、受け継ぐための計画（地域づくりの理念）

### Point

市民一人ひとりが主体的に行動を起こすための計画（行動指針の共有）

### Point

観光を通じた持続可能な地域づくりを目指すための計画（横断戦略の設定）



## 1 うきはらしい観光地域づくりの理念



美しい里山、先代が創りあげてきた文化、市外の人々を歓迎する気質や環境など、うきは市に数ある資源は、あるがままに積み重なったのではなく、長い時間をかけて人々の手が加わることにより磨かれてきました。これらの資源の保全や活用、発展に力を注ぐ市民の活動が観光を通じて来訪者を惹きつけ、協力しあう関係を構築し、関わることを大切にしていきます。「つながりを通じて多くの人に関わり、長く愛される地域であること」がうきはの魅力の源であり、市民の誇りです。

## 2 関係者行動指針

### 想いを伝え広げる (共有)

活動を通じて地域がより良くなることを目指し、活動を通じてその想いを広げること

### 価値をつなげる (共感)

価値観を共有できる人と人をつなげることを大事にし、地域への愛着を育むこと

### みんなで作る (共創)

うきはの魅力を照らす創造的な取組に、市内外問わず人々が主体的に関われること

## 3 KGI(重要目標達成指数)

	指標	現状値	目標値 ※令和10(2028)年度
指標1	市民満足度(おおすすめ意向) 市民満足度調査にて、おおすすめ意向がある市民の割合	59.3% ※令和5(2023)年	59.3%以上 ※令和5(2023)年度に初調査。以後5年後に実施予定。
指標2	リピート意向がある来訪者(観光客)の割合 1年以内にうきは市へ再訪したい来訪者(観光客)の割合	93.5% ※令和5(2023)年	90%以上を維持 【これまでの推移】 ・R4(2022): 91.8% ・R3(2021): 94.0%
指標3	来訪者の滞在時間 来訪者がうきは市内に滞在している(予定を含む)平均時間	5.4時間 ※令和5(2023)年	5.5時間以上 【これまでの推移】 ・R4(2022): 5.9時間 ・R3(2021): 4.9時間

## 第2期うきは市観光振興計画の全体像



### 1 戦略の全体像

#### 理念・行動指針に基づく今後の戦略

#### 戦略1：育む・創る

##### 戦略1-①：観光地域づくりを先導する人材を育む

持続可能な観光地域づくりを先導する人材を育成するとともに、幅広い関係者が観光に関わり、官民連携のもと事業を実行しながら、選ばれる観光地としての体制の強化を図ります。

##### 戦略1-②：地域資源を守り・活かし・発展する仕組みや コンテンツをつくる

うきは市が誇る地域資源そのものが持つ魅力の磨き上げとより良い保全活動を展開し、観光の仕組みやコンテンツを造成することで、選ばれる観光地を目指していきます。

#### 戦略2：つながる・つなげる

##### 戦略2-①：仲間とより良くつながる

市内外問わず、うきは市ならではの魅力を共有し共感する人や企業などを仲間として、ともに観光地域づくりに取り組む場や機会づくりに取り組んでいきます。

##### 戦略2-②：市内の利便性向上と観光振興をつなげる

観光における受け入れ環境の整備を通じて利便性を高めていくことにより、市民も来訪者も満足できるまちづくりに取り組みます。

#### 戦略3：伝える・受け継ぐ

##### 戦略3-①：うきはならではのツーリズムを市内外に伝える

観光動向や施策結果の可視化に取り組むとともに、その分析結果を関係者に共有し、市としての施策や事業者の戦略に活かすなど、情報資産を有効活用します。

##### 戦略3-②：次世代がうきはを受け継ぐ土台をつくる

地域に誇りをもつ人であふれる観光地域づくりを目指し、持続可能な観光地域づくりに取り組みます。

**横断戦略4…持続可能な観光地域づくり**  
本市の自然環境が生み出す唯一無二の観光資源である特産品や景観が適正に保全、活用されるため「持続可能な観光地域づくり」の視点を持って各戦略の取組を総合的に推進します。取組の実行体制の構築やサステナブルツーリズムに向けたコンテンツづくり、次世代の人材育成などに取り組みます。

## 2 戦略に応じた具体的な取組

### 戦略1：育む・創る

#### 戦略1-① 観光地域づくりを先導する人材を育む

- 観光地づくりに活躍する人材の育成
- 外国人旅行者に対応できる人材の育成
- 民間事業者のチャレンジを後押しするための支援の継続
- 観光地として選ばれ続けるための、受け入れ側のおもてなしの心の醸成、事業者や住民の意識醸成
- うきはの観光の中核を担ううきは観光みらいづくり公社の機能強化
- 観光に携わる関係者が定期的に意見交換や情報提供を行う体制づくり

#### 戦略1-② 地域資源を守り・活かし・発展する仕組みやコンテンツをつくる

- フルーツや棚田、森林、古墳、温泉など地域の魅力を活かした観光振興
- 伝統的な地域資源を活かして外国人旅行者の満足度を高める環境の整備
- 体験型の観光商品やワーケーションでの訪問などを通じて、滞在時間を伸ばすコンテンツの開発
- フルーツやスイーツなど、うきは特有の食の魅力を活かした観光振興
- うきは6次化センター(うきは夢ラボ)の活用を図り、来訪者に購入される新商品の開発
- 道の駅うきはの機能強化
- 温泉街や大石分水路のブランディングの継続



出典：うきは観光みらいづくり公社



出典：うきは市

### 戦略2：つながる・つなげる

#### 戦略2-① 仲間とより良くつながる

- 市内関係者による情報共有の場づくりと、市民への情報提供や啓発を進めて感心を高める
- 持続可能な観光地づくりに向けた関係者による合意形成の協議
- 観光庁など国の補助金活用にあたって関係者による体制づくり
- 地域の人々が来訪者と触れあって交流や周遊を促進する取組の継続
- 久留米市や朝倉市、八女市、日田市などの近隣自治体や公共交通機関との連携

#### 戦略2-② 市内の利便性向上と観光振興をつなげる

- 観光に関する情報の整備や利用促進、旅行者が訪問しやすい環境づくり
- デジタルを活用した取組の推進と、事業者による消費者の属性把握や行動分析の支援
- 市内の駐車場の分かりやすい案内など、来訪者が円滑に周遊できる環境づくり
- バス・タクシーなど市内公共交通機関とともに、新たな二次交通の整備導入に向けた検討



出典：うきは市



出典：うきは観光みらいづくり公社

## 戦略3：伝える・受け継ぐ

### 戦略3-① うきはならではのツーリズムを市内外に伝える

- 「うきはテロワール」など本市の地域資源を広く発信する機会の増大
- 継続的なうきはの情報発信とプロモーション
- うきは観光みらいづくり公社とともに旅行者や来訪者が求めている旬の情報の発信
- SNS を含むデジタルを活用してうきはへの観光情報を発信するとともに、来訪者自らがうきはの情報をデジタルで発信してもらえる機会の増大
- 検索サイトなどの情報を把握して整理することによる、正確な市内の観光情報の提供


### 戦略3-② 次世代がうきはを受け継ぐ土台をつくる

- 子どもたちや市民が住み続けられる持続可能なまちづくりと観光地づくり
- 観光と農業の好循環を持続させるための、うきはの地域資源である農村や自然環境の保全と農業従事者の支援
- うきは市への移住希望者や関係人口の増加を目指した古民家の活用など

【うきはスイーツツーリズム®】

【観光に関する出前講座】

うきはスイーツツーリズム®



スイーツとは、嬉しいもの、楽しいもの、素敵なもの。  
うきはの中は、そんなもの・ことで溢れています。  
目で、耳で、舌で、じっくり味わいに来て下さい。  
スイーツツーリズム®はうきは市の登録商標です。

*Ukiha Sweets Tourism*



出典：うきは市

## 横断戦略4 持続可能な観光地域づくり

- 持続可能な観光の推進に向けてオーバーツーリズム(観光公害)対策や抑制と、市民の関心と理解の促進
- 地球温暖化防止対策として環境に配慮した観光地づくり
- 大規模災害などの発生時における旅行者の安全安心の確保に向けた協議や体制づくり
- 全ての方が観光を楽しめる観光地づくりに向けて、ユニバーサルデザインの実施の推進
- GSTC 認証に向けて TOP100 選へのエントリーのための検討

【流川桜並木オーバーツーリズム対策】

【セキスイの森保全活動】

【GSTC 認証 TOP100 選ロゴ】



出典：うきは市



出典：うきは市



出典：Green Destinations

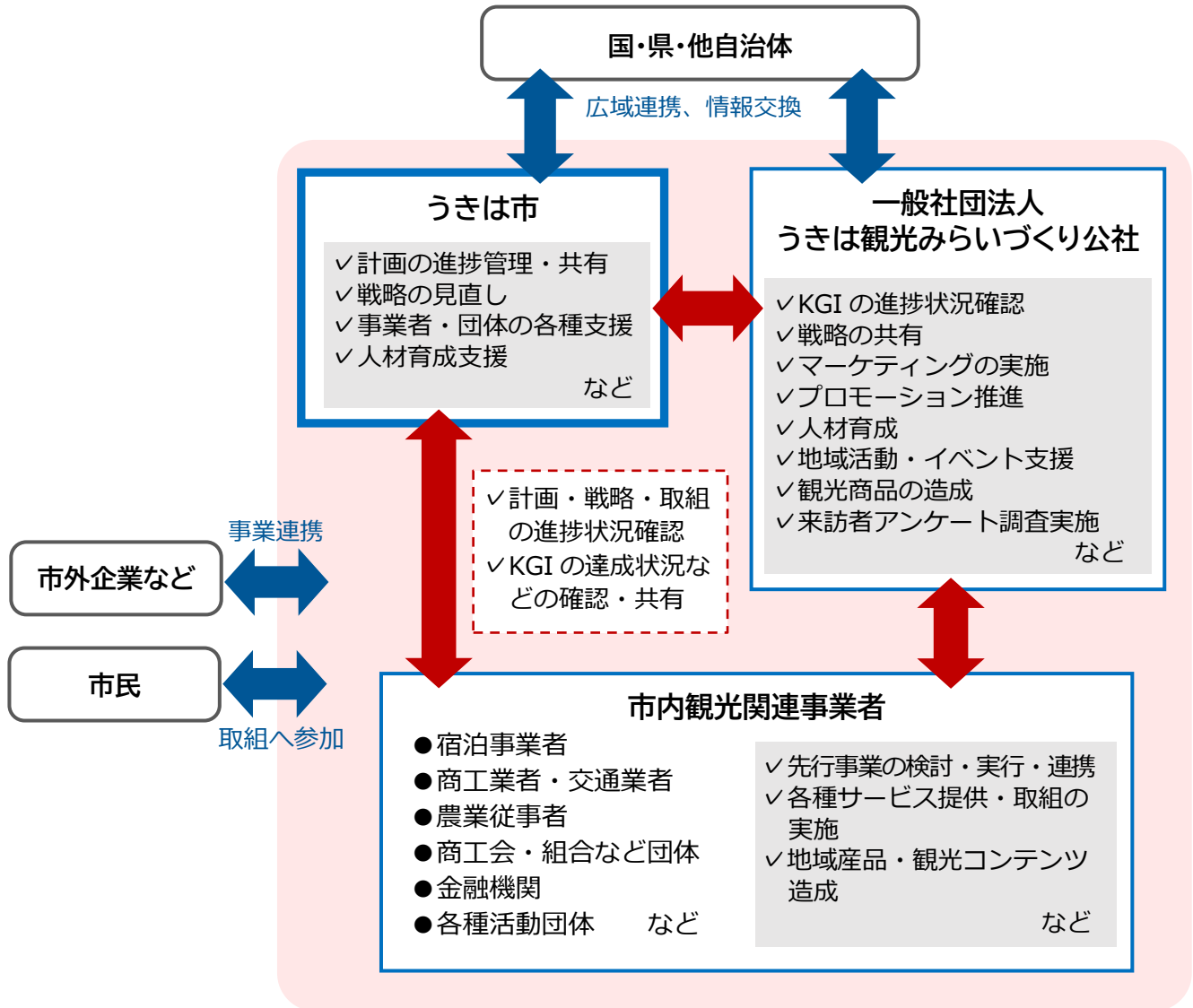
## 第2期うきは市観光振興計画の推進体制



第2期うきは市観光振興計画は、うきは市の進捗管理のもと、うきは観光みらいづくり公社が多様な関係者と連携を図りながら取組を推進していきます。

なお、戦略に基づく取組の進捗管理方法にあたっては、PDCA(計画・実施・評価・改善)サイクルを実施して管理を行い、進捗度に応じて新たな改善案の立案や実施を検討します。

【推進体制のイメージ】



## 第2期うきは市観光振興計画（概要版）

令和6年3月発行

編集・発行 うきは市 うきはブランド推進課

〒839-1401 福岡県うきは市浮羽町朝田 582-1

